

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2011.11.29(火)
No. 188

全校で放射線測定 結果の全面公表を

継続的な測定こそ必要 除染の予算確保を

さいたま市内の鐘塚公園と宮原中学校で暫定基準値より高い放射線量が検出されたことを受けて、市教委は11月8日から29日の期間中に小・中・高等学校や公立保育園などで、放射線の測定を実施しました。しかし、それだけで済む問題ではありません。

定期的な測定こそ必要

さいたま市教組は、放射線の影響が大きい子どもたちの安心・安全を考え、市教委に対しすべての小・中・高・特別支援学校での放射線量の定期的な測定を強く要求してきました。埼玉県内の三郷市で高い数値の放射線量が検出されていることや、千葉県松戸市等のホットスポットの存在は、さいたま市内でも基準



放射線量の測定に関して、さいたま市教委は「各区役所に2台の放射能測定器があり、その貸し出しで測定して欲しい」という回答でした。さいたま市は、空間放射線量を月1回、各行政区内2か所で測定してまいりました。また7月8日から12日の間に、すべての小中高校で1回測定しました。

今回、11月8日から29日の間に、すべての小・中・高・特別支援学校で放射線量の測定が行われましたが、継続して定期的に測定しなければ、決して安心・

安全と言えません。

測定値の全面的な公表を

さいたま市は、周辺より空間放射線量が高い雨どいの下などの水のたまりやすい箇所を測定します。小学校102校、中学校57校、特別支援学校1校、高等学校4校で測定を行います。正確な数値を全面的に公表することが必要です。

食材の検査機器台数増を

学校給食の安全について健康教育課に確認したところ、「さいたま市は自校給食を行っているのですべての食材の測定はできない」と回答しました。

健康教育課では、各校の給食献立を調べ、検査機関に対し、旬の食材で利用頻度の高い食材を調べて欲しいと

申し入れをしています。

現在、浦和と大宮の卸売市場に流通する食品(野菜)から4品目を抜き出し検査を行っています。また地元の農協から出荷される野菜も検査を行っています。

除染に支障が出ないように

測定結果によっては汚染された土壌の除染を行わなければなりません。市教組が購入した放射線量測定器を学校に持ち込み、測定したところ高い数値が出ました。これを受け、市教委が測定し、同じように高い数値を示し、除染した学校があります。

新聞報道によると、福島県や三郷市の学校で、校庭の土を1センチメートル除去しただけでも放射線量が半分になったと報じられています。子どもたちに安心・安全を確保するため、必要な予算を確保して、除染に支障が出ないようにすることが求められます。また、測定機器の台数を増やすことも必要であり、緊急の対応が求められます。

市教組 線量計の貸し出し始める



クリアパルス株式会社製
A2700型

市教組と主任手当拠出金管理委員会は、放射線測定器を2台購入しました。さいたま市での貸し出しは順番待ちになっています。このたび、子どもたちの安心・安全を考え、皆さんに活用してもらおうと、貸し出しを始めました。

測定器を借りる場合は、組合事務所に連絡してください。測定値の情報を共有したいので、機器を利用する場合には、測定値の記入をお願いすることになります。貸出期間は、2泊3日です。(無料です)